

股池改修記念碑

股池者吾郷灌漑之源也而池水甚淺夏季苦於旱魃久矣文政七年
因森岡家祖林右衛門翁及配美世女之志全浚渫之功闔郷深德之
大正十四年三月建碑爲之記念美世女大阪堀江橋街播磨屋喜兵
衛氏末女也文政二年八月十二日長女病歿法諱曰觀光智隨後嗣
全絶焉其姻戚相議託遺財於森岡家請充弔祭之資夫妻謂貨財有
時夫之宜講公益之道因以立弔祭之法謀諸郷黨之人衆皆大悦乃
以此淨財資工費浚渫股池便於灌漑以餘力開田圃每歲所收穫悉
領諸郷黨之人且厚行弔祭蓋此之畫策里正惣助氏之功居多矣於
是郷黨有志胥謀建此碑表感德之誠永禱冥福

大正十四年三月建之

現代語訳 大意

股池はわが村（郷）の灌漑の源であるが、池の水はたいへん浅く、長年夏になると干上がって困っていた。文政七年（1824）、森岡家のご先祖の林右衛門翁と奥方の美世女（みよじよ）の篤志により浚渫工事がおこなわれた。村のものはこの德行に深く感謝し、大正十四年（1920）二月に碑を建ててこれを記念することにした。美世女は大阪堀江橋町の播磨屋喜兵衛の末娘であった。文政二年（1819）八月十二日に（家督を継いでいた）長女が病没し、法名を觀光智としたが、これにより（播磨屋の）後嗣は途絶えてしまった。そのため、親戚一同で相談したうえで、その遺産を森岡家に委託して、葬祭や供養の費用にしておおうとしたが、夫妻がいうには、財産があるときにこそ公益の道を講じるべきである、ということ、（今後の）葬祭や供養の方法を村の人たちに相談した。村人たちは大いに喜んで、この淨財を工事費用として股池の浚渫をおこなって灌漑の役に立て、その余力で田んぼを開墾し、そこからの収穫をすべて村人の共有財産として、その金で毎歲盛大に供養をすることにした。この計画については、里正惣助氏の功勞によるところが大きかった。そこで村の有志が相談して、この碑を建てて（先人の）德行を感謝し、永久のご冥福をお祈りすることにした。

大正十四年三月これを建てる